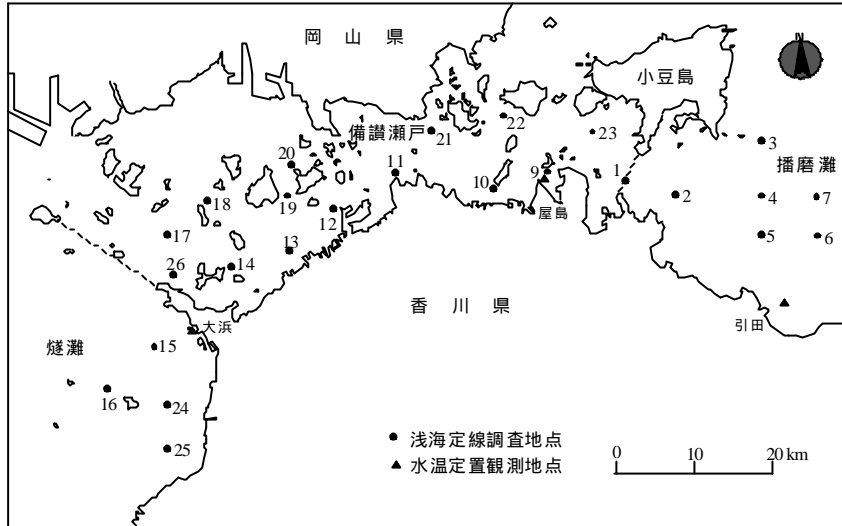


香川県漁海況速報 平成14年7月 (H14- 4号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成14年7月8日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	22.9	21.6	19.6	32.2	32.3	32.4	7.1	4.90	3.94
	平年値	21.8	20.4	18.8	31.5	31.8	32.0	8.2	5.26	3.70
	平年偏差	1.1	1.2	0.8	0.7	0.5	0.5	-1.1	-0.36	0.24
	状況	やや高め	著しく高め	やや高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	22.0	21.5	21.3	32.1	32.2	32.2	5.4	4.63	4.17
	平年値	21.1	20.7	20.3	31.4	31.7	32.0	4.0	4.78	4.54
	平年偏差	0.9	0.8	1.1	0.7	0.4	0.2	1.4	-0.15	-0.37
	状況	やや高め	やや高め	かなり高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり高め	平年並み	やや低め
燧灘	4地点平均値	23.0	21.3	19.8	32.2	32.6	32.8	7.0	4.82	3.65
	平年値	23.7	19.9	18.1	31.3	32.3	32.5	10.1	5.37	3.79
	平年偏差	-0.8	1.4	1.8	0.9	0.3	0.2	-3.1	-0.55	-0.14
	状況	平年並み	著しく高め	著しく高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	かなり低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

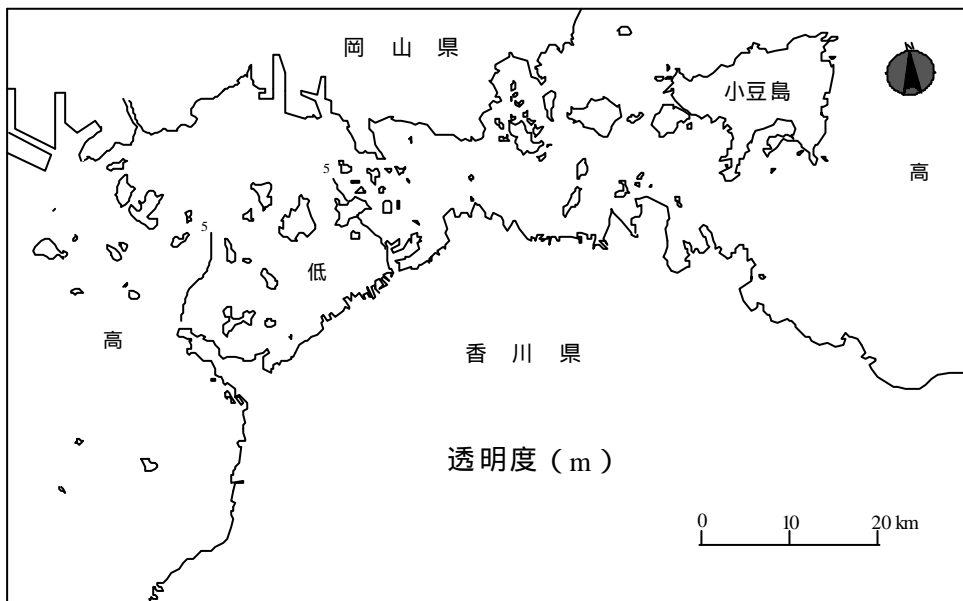
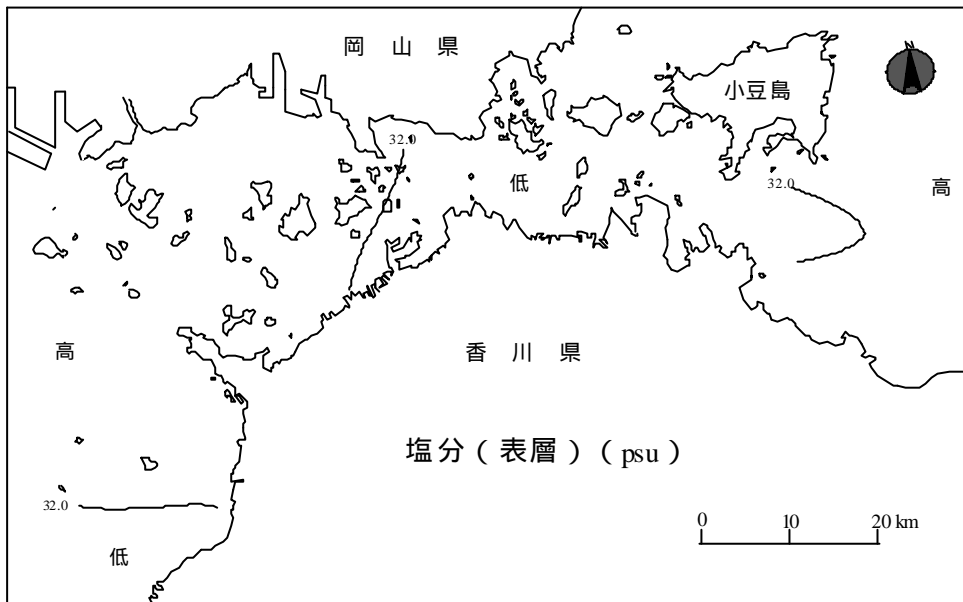
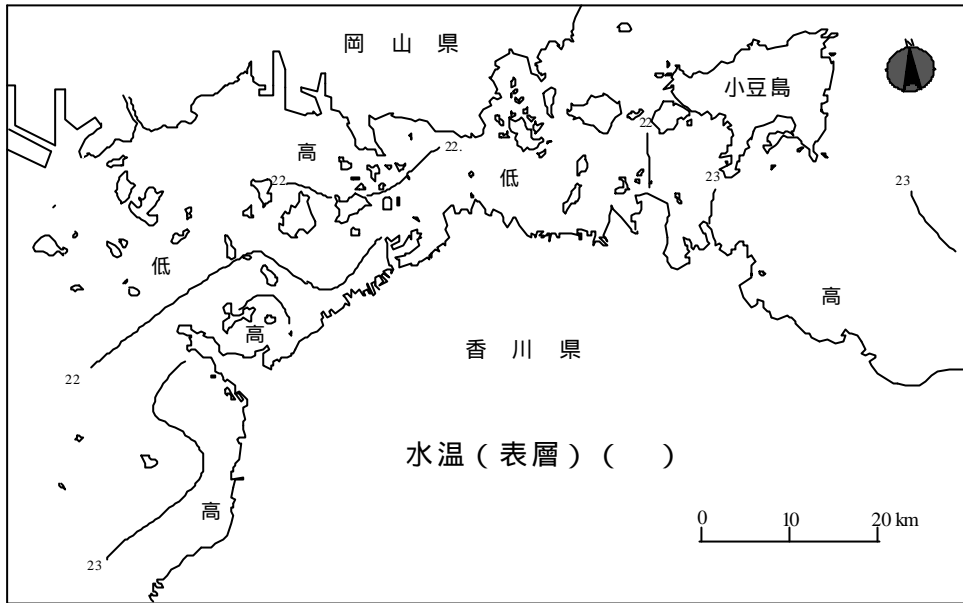
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差



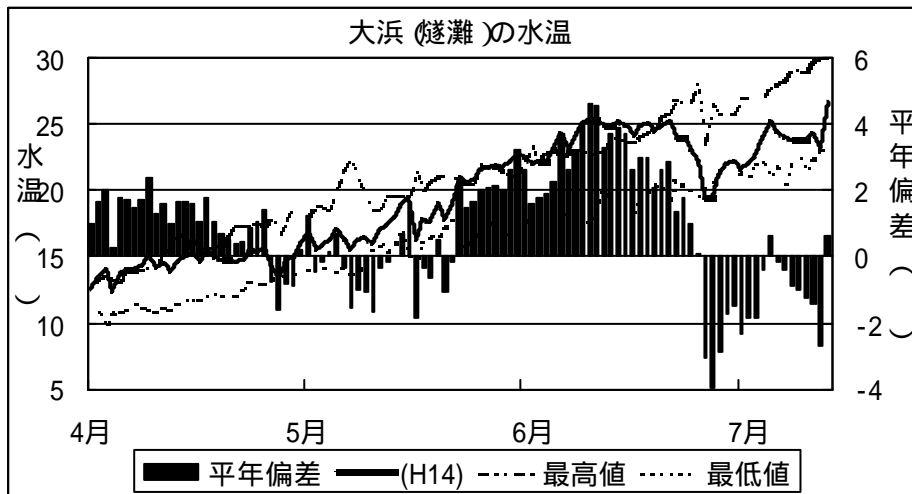
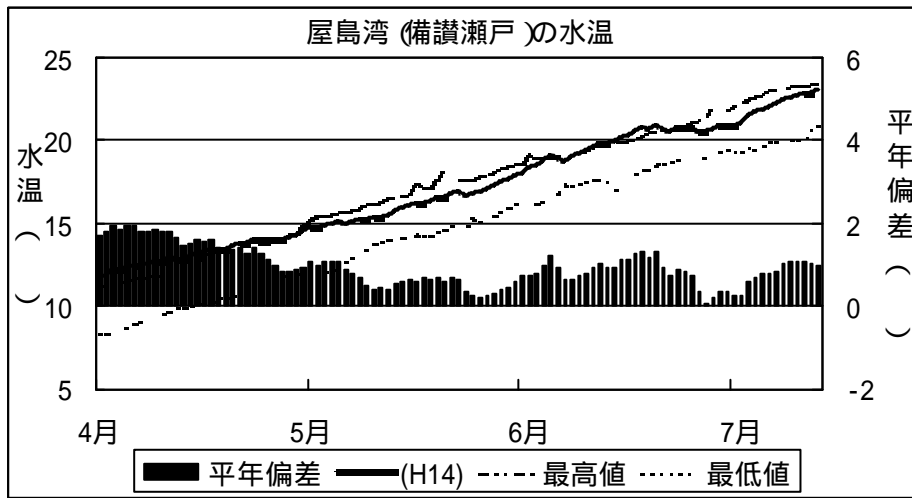
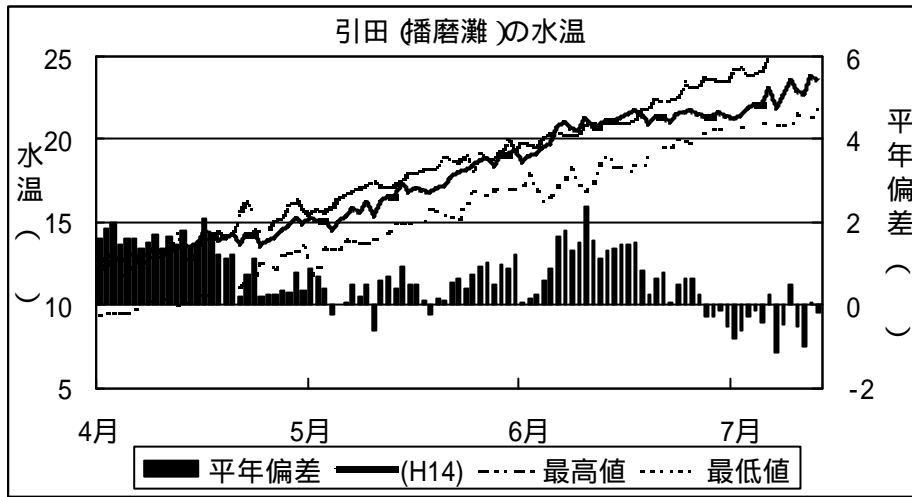
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 6月に入り平年偏差が大きくなっていったが、中旬から小さくなり、下旬から7月上旬にかけて平年値より1程度低く推移している。

備讃瀬戸(屋島): 5月下旬から6月中旬にかけて平年偏差が1.5前後で推移し、下旬にはやや小さくなっていったが、7月中旬には1前後で推移している。

燧灘(大浜): 5月下旬以降平年偏差が大きくなり最大で4を超えていたが、下旬には大きく低下し、7月上旬は平年より1前後低く推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：6月8日屋島湾で *Heterosigma akashiwo* による赤潮の発生があった。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年7月8日（播磨灘）、2日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	152.75	95.88	0.00	0.00	0.00	0.00	9.50	6.00
備讃瀬戸平均	1.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	8.27	1.33
燧灘平均	14.57	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43	0.43
総平均	44.73	25.73	0.00	0.00	0.00	0.00	6.77	2.37

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	380.4%	4271.9%	-	-
備讃瀬戸平均	35.2%	28.1%	-	-
燧灘平均	113.5%	25.0%	-	-
総平均	290.3%	2107.2%	-	-

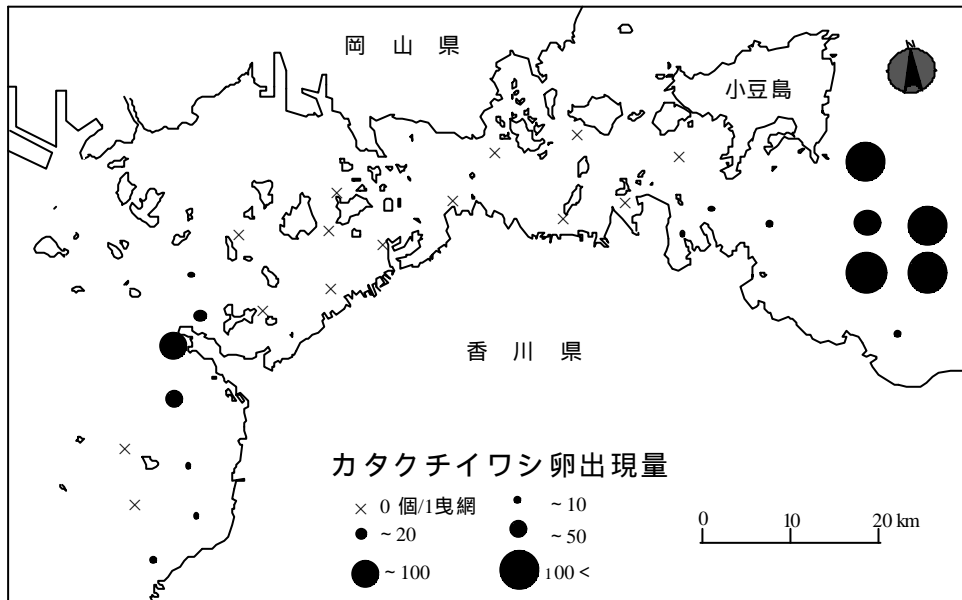
- : 平年値が0の場合を示す。

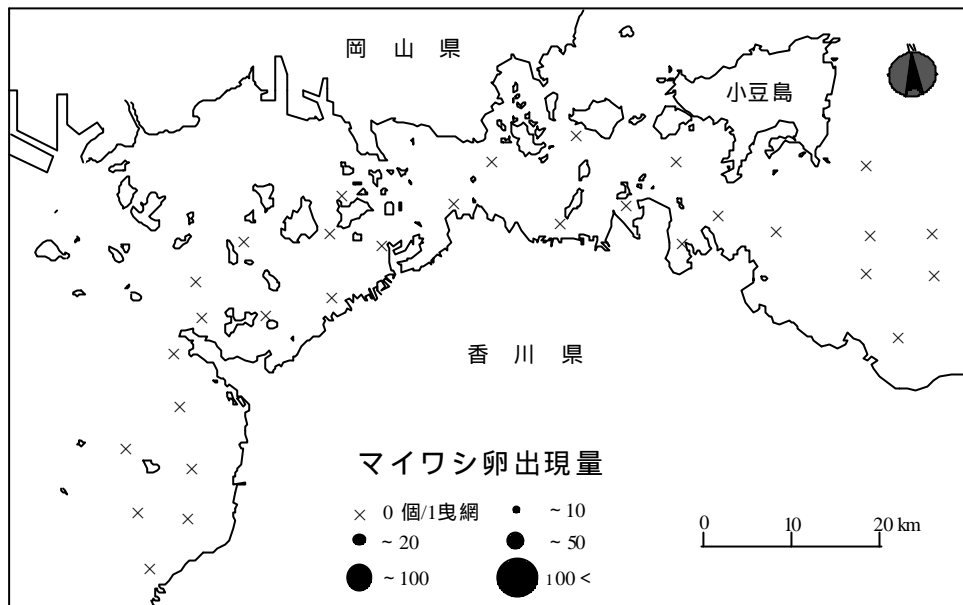
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成12（2000）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成12（2000）年度

マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





2. 漁況

6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底曳網では主にマアナゴ、スズキ、小エビ類、テナガダコ、シャコが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網では主にスズキ、マアジ、スルメイカが漁獲されている。</p> <p>6月のシラスの船曳網の漁獲量は、漁期当初の例年のない不漁もあって、前年比40%の152トンであった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底曳き網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダコ、マアナゴ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>庵治沖の込網では6月中旬からカタクチシラスが漁獲されている。</p> <p>マナカツオの流し刺網は前年を下回って不漁である。</p>
燧 灘	<p>底曳き網では主に小型エビ類、メイタガレイ、シャコ、アカカマス、テナガダコ、シログチ、キス、スズキが漁獲されている。</p> <p>柵網では主に、クロダイ、アカカマス、スズキ、スルメイカ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>イワシ機船船曳網は、6月12日から大羽漁、22日からシラス漁が開始され、6月の漁獲量は前年の約3倍と好漁である。</p>